

施策の内容



基本目標 1 男女平等を支える意識をつくる

(1) 男女の人権を尊重する意識の浸透

基本方針

一人ひとりが、かけがえのない大切な存在として尊ばれることが、より多くの人々の意識として浸透されるよう、さまざまな機会を活用した意識啓発・広報活動を進めます。

また、生涯にわたる性と生殖に関する健康を保つことの大切さやその権利を尊重する理念の普及、身の回りにあるメディアを読み解いていく力の育成に努めます。

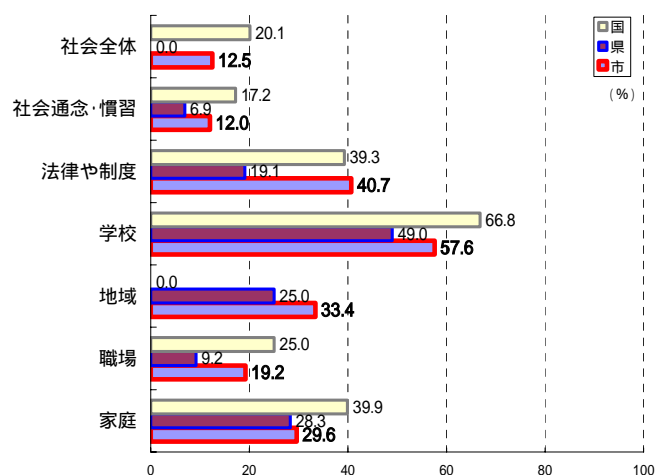
現状と課題

法律や制度などにおいては、男女に与えられる機会は平等になりつつありますが、人々の社会通念や慣習といった意識においては、さらなる取り組みが必要です。例えば、「子どもはまだ?」「ふたりめは?」「男の子の跡取りを」という何気ない周囲の一言で思い悩む女性も多いのが現状です。「いつ・何人の子どもを産むかどうか」ということは、女性自身の心やからだに及ぼす影響はもちろんのこと、人生における重要な問題であり、本人の意思が尊重されなければならないということを知ってもらう必要があります。

また、配偶者等からの暴力やセクシュアル・ハラスメントが、「犯罪である」という認識は十分ではなく、映画やテレビなどにおいてもありふれたシーンとして描かれていることがあります。他にも、ポスターなどにおいて、内容に関係なく、水着の女性をアイキャッチとして利用するなど、メディアにおいては個々の人権への配慮が欠けている場合があります。そのために、このようなメディアからの情報を無意識に受け入れるのではなく、受け入れる側である私たちが、正しく理解する必要があります。

関連データ

平成 17 年度に実施した「和光市男女共同参画市民意識調査」では、「男女の地位は平等になっている」と回答した人が半数を超えたのは「学校」だけでした。また、社会全体で「男女の地位が平等になっている」と回答した人は 12.5%にとどまっています。つまり、多くの人々が性別を理由とした不平等を感じていることがわかります。



男女平等だと思う人の割合 (H17 和光市男女共同参画市民意識調査)

指標

『男女の地位が平等になっていると回答した人の割合』

(和光市男女共同参画市民意識調査より把握)

12.5%(現状値) 15.5%(目標値)【3%アップ】

施策	施策の内容	主な取り組み	区分	担当課等
男女の人権を尊重するための意識啓発と情報提供	男女の人権を尊重する意識啓発を進めるとともに、さまざまな機会を通じて情報提供を強化します。	男女の人権の尊重に関する講座・フォーラム等の開催	既存	政策課 生涯学習課 保健センター 各関係課等
		広報の活用と啓発資料の発行	既存	政策課 市政情報課 生涯学習課 各公民館 図書館 各関係課等
		関連図書設置等による情報提供	既存	政策課 市政情報課 学校教育課 図書館 各公民館 福祉総合会館
生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重の理念普及	女性の生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利を尊重する意識啓発を進めるとともに、性別による差別や性の商品化を許さない意識啓発を進めます。	広報の活用と啓発資料の発行	既存	政策課 社会福祉課 こども福祉課 保健センター 学校教育課
		性感染症予防に関する講座等の開催	既存	政策課 保健センター
メディア・リテラシーの育成	性別による固定的な役割分担意識や差別、性の商品化など、女性を性的な対象として扱う表現、女性に対する暴力を助長するような表現をしないよう意識啓発を進めるとともに、刊行物発行マニュアルを作成し、メディアを読み解く力の育成に取り組めます。	メディア・リテラシーの育成をめざした講座等の開催	既存	政策課 生涯学習課 地域振興課 各公民館
		ポスター掲示等による民間刊行物等への周知徹底	既存	政策課 地域振興課
		市刊行物における男女平等の視点の指導徹底	既存	政策課 市政情報課
		刊行物マニュアルの作成	新規	政策課

キーワード等、説明が必要な語句について解説します。

用語解説

セクシュアル・ハラスメント
アイキャッチ
メディア・リテラシー



(2) 性別による固定的役割分担意識の解消

基本方針

性別によって男女の役割分担を固定化することは、一人ひとりが持っている多様な個性と能力を発揮する機会の妨げとなります。そのため、そのような意識の解消に向けた取り組みを長期的かつ継続的に進めます。

現状と課題

平成 17 年度の「和光市男女共同参画市民意識調査」では、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に否定的な人は 55.6%と半数を超えました。また、「家庭内では妻と夫は対等に話し合うべき」「やさしい男の子やたくましい女の子がいてもいい」などの考え方に肯定的な意見も多く、固定的な男女の役割分担にとらわれない面が見られます。一方で、「家族を養うのは男性の役割」と思っている人の割合は 7 割近くを占めているのも事実です。

夫婦間でどのような家庭を築くのか、男性、女性としてどのような生き方をするのかは、一人ひとりの価値観として尊重されることであり、本計画でもそのような個人の生き方を尊重しています。一方で、一人ひとりの価値観を尊重するためには、社会の規範（伝統や慣習など）として固定的に「女性の役割」「男性の役割」を決め付ける意識については解消が必要と考えます。男女共同参画の視点から社会制度や慣習を見直すきっかけとなるような情報や学習機会の提供などが必要です。

関連データ

「夫婦ともに職業をもつのが望ましい」と考える人が 55.6%である一方、「結婚したら、家族を養うのが男性の責任である」と考える人が 7 割を占めています。

問 2 0 考えに近いもの A 夫婦ともに職業を持つ - B 男性は仕事、女性は家庭

	Aに近い	どちらかというともう一方に近い	どちらかというともう一方に近い	Bに近い	無回答	サツブ数
TOTAL (%)	20.8	34.8	29.6	9.5	5.3	818

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	サツブ数
結婚したら、家族を養うのが男性の責任である	27.4	41.9	11.0	14.3	5.4	818

指標

『「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識に同感しない市民の割合』

（和光市男女共同参画市民意識調査より把握）

55.6%（現状値） 60.6%（目標値）【5%アップ】

施策	施策の内容	主な取り組み	区分	担当課等
男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の普及啓発	男女がともに性別による固定的な役割分担意識にとらわれることのないよう、広報や啓発資料を通じた啓発を行います。	広報の活用と啓発資料の発行	既存	政策課 市政情報課 図書館 生涯学習課 各公民館 こども福祉課 保健センター
		講座やポスター等による家庭生活に関する法律や制度の情報提供	既存	政策課 地域振興課
男女共同参画に関する学習機会の充実	さまざまな場面において男女共同参画の視点を取り入れた学習機会を設定します。	男女共同参画に関する講演会、講座の開催	既存	生涯学習課 地域振興課 各公民館 保健センター
男女の自立を支える技術の取得	日常生活や育児・介護に必要な基礎的な技術を身につけられるための支援を行います。	男性向けの日常生活技術・育児・介護講座の開催	既存	生涯学習課 各公民館 地域振興課 長寿あんしん課 保健センター こども福祉課
		両親学級や育児教室の開催	既存	保健センター

基本目標 1 男女平等を支える意識をつくる



(3) 男女平等教育の推進

基本方針

おとなも子どもも、性別にとらわれずに広い視野をもちながら、個性と能力を十分に発揮できるよう、新しい価値観に触れる学習機会を、家庭、学校、職場、地域などさまざまな場面で推進します。

現状と課題

子どもが成長する過程においては、保護者、保育士、教職員などさまざまなおとなと接しながら多様な価値観を習得します。そのため、家庭、学校などにおいて、無意識のうちに性別による固定的な役割分担意識にとらわれていないか、気づきを促す機会を設定する必要があります。

また、おとなになってからも、一人ひとりが性別にとらわれずに個性と能力を十分に発揮できるよう、職場、地域などあらゆる場で視野を広げて学ぶ機会を充実させていくことが重要です。

関連データ

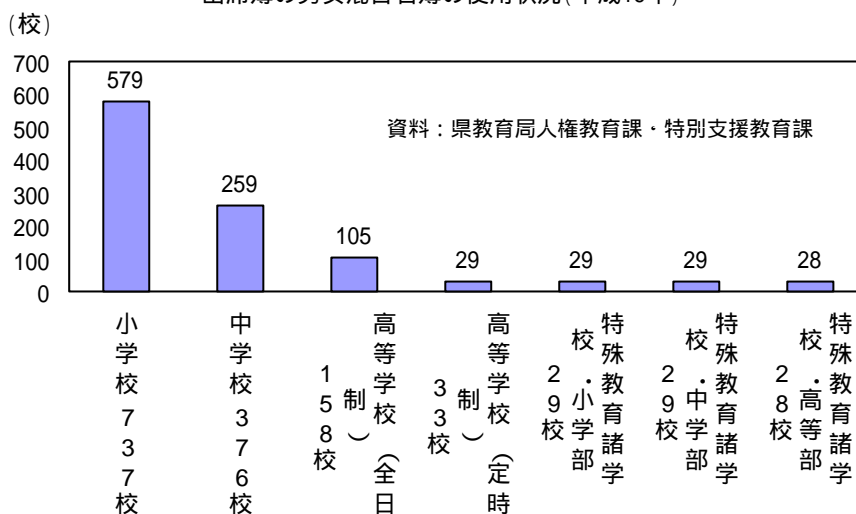
1 和光市男女混合名簿の使用状況 (H17年7月)

- ・小学校 8 校、中学校 2 校
- 《内容》出席簿、児童名簿等

2 和光市男女混合呼名の実施状況 (H17年7月)

- ・小学校 8 校、中学校 3 校
- 《内容》卒業式、入学式等

出席簿の男女混合名簿の使用状況(平成16年)



指標

『「男は仕事、女は家庭」という役割感に同感しない子どもの割合』

(和光市男女共同参画市民意識調査より把握)

70%(目標値)

施策	施策の内容	主な取り組み	区分	担当課等
家庭における男女平等教育の推進	保護者の男女平等意識を高めるための講座等を実施します。	家庭教育を担う保護者を対象とした講座等による情報及び学習機会の提供	既存	生涯学習課 こども福祉課 保健センター 各公民館
		男女平等の視点に基づいた本の提供	既存	図書館 各公民館 こども福祉課 各保育園 政策課
学校における男女平等教育の推進	男女がともに個々の個性と能力が発揮できるよう男女平等教育を推進します。また、無意識のうちに性別にとらわれた指導等が行われないう、指導者の意識向上を図ります。	日常の指導における男女平等の視点に基づいた教育の推進	既存	学校教育課 各保育園
		児童・生徒の発達に応じた性教育の推進	既存	学校教育課
		男女平等に関する学習内容や指導方法を充実させるための研究の推進	既存	学校教育課 各保育園
		教育現場に応じた混合名簿の推進	既存	学校教育課 各保育園
		男女共同参画に関するチラシの配布やポスター掲示等による保育園や幼稚園への男女平等教育の普及	既存	教育総務課 こども福祉課
		男女平等の視点に基づいた図書を選定	既存	学校教育課 こども福祉課 各保育園
職場における男女平等教育の推進	職場において、女性が能力を十分に発揮できるよう、女性が活躍する場を広げるために意識啓発を進めます。	講座、ポスター等による女性の就業分野の拡大・管理職登用等の促進の啓発	既存	地域振興課
		講座、ポスター等による就業における性別による固定的な役割分担意識解消の啓発	既存	地域振興課
地域における男女平等教育の推進	男女平等に関する学習機会を提供します。また、子どもを対象とした学習機会の拡充も検討します。	地域及び生活課題に関する男女共同参画講座の開催	既存	政策課 地域振興課 生涯学習課 学校教育課 各公民館



(4) あらゆる暴力の根絶

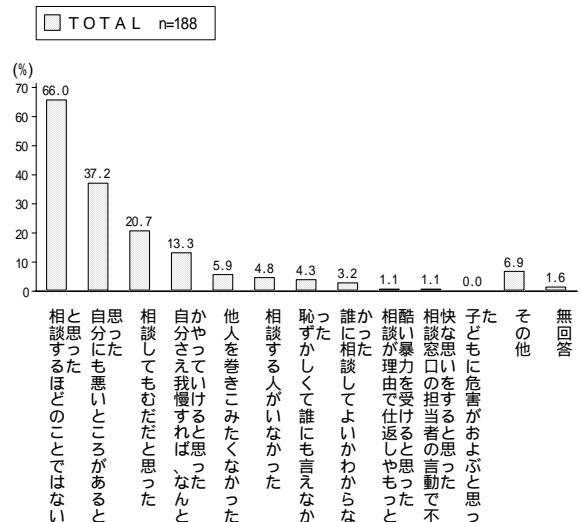
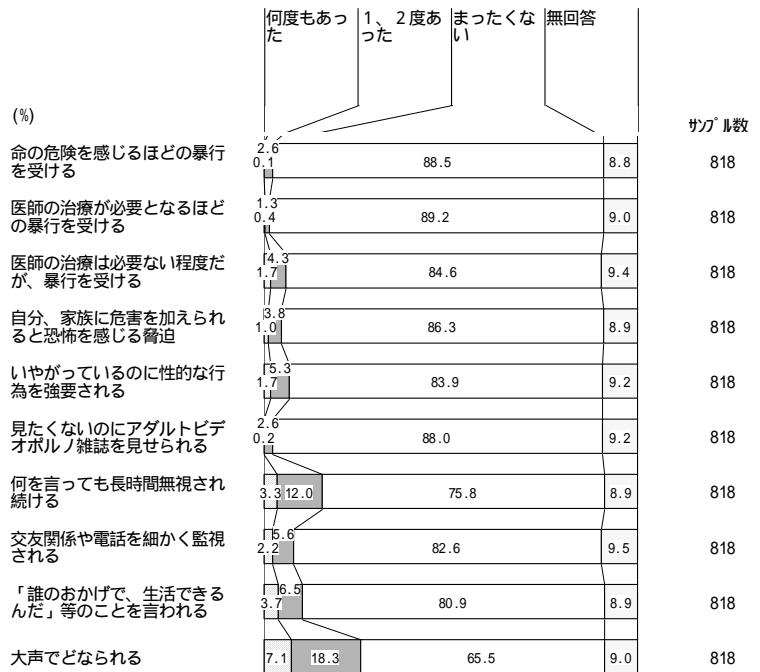
基本方針

ドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメントなどの行為は、人権を侵害する行為であり、許されるものではありません。被害者が必要なときに必要な支援が受けられるよう、相談体制の整備や支援体制の強化に取り組みます。

現状と課題・関連データ

平成 17 年度「和光市男女共同参画市民意識調査」によると、ドメスティック・バイオレンスにあたる事項のうち、「身体的暴行」で 13.3%、「精神的暴行」で 15.7%、「性的暴行」で 28.6%の人が、それらの行為を暴力だと認識していません。また、回答者のうち、ドメスティック・バイオレンスを受けた経験のある人が 291 人（35.6%）にもものぼります。またそれらのうち、その行為を子どもが見ていた人が 37.1%います。

暴力を受けても、相談ができなかったもしくは相談しようとは思わなかった人は 70.1%であり、たとえ相談したとしても、その相談相手は「友人・知人」「家族・親せき」が多く、「市役所の相談窓口」「民間・県・国等の電話相談」などの公的機関はほとんど利用されていません。女性相談及び男女共同参画苦情等処理の窓口の周知徹底が重要なとともに、必要な時に相談できる体制づくりが求められています。



指標

『和光市女性相談を知っている人の割合』

(和光市男女共同市民意識調査より把握)

50.0%(目標値)

施策	施策の内容	主な取り組み	区分	担当課等
DV・セクハラ防止対策の推進	配偶者や恋人など親しい間柄による暴力とセクシュアル・ハラスメントをなくす環境づくりを推進します。	講座・講演会・ポスター等による市内事業所への意識啓発	既存	政策課 地域振興課 生涯学習課
		男女共同参画苦情処理相談の窓口の周知	新規	政策課
DV・セクハラ被害者への支援	相談窓口を充実させるとともに、被害者相談への対応を強化し、総合的な支援に取り組みます。また、市が実施できる加害者の暴力克服プログラムを検討します。	女性相談の周知と充実	既存	政策課 地域振興課
		ポスター、チラシ等を活用した被害相談に関する情報提供	既存	政策課 社会福祉課 こども福祉課 地域振興課 生涯学習課 学校教育課 保健センター
		講座、ポスター等による加害者の暴力克服プログラムの検討	新規	政策課 社会福祉課 こども福祉課 地域振興課 生涯学習課 学校教育課 保健センター
相談体制の充実と関係機関の連携	関係各課・関係機関との連携を図り、女性に対する暴力の根絶に取り組むとともに、女性の人権擁護の観点から総合的に検討します。	警察・病院・学校等との連携体制の整備	新規	政策課 社会福祉課 こども福祉課 地域振興課 生涯学習課 学校教育課 保健センター
		女性相談担当者会議の開催による情報共有	新規	政策課 社会福祉課 こども福祉課 地域振興課 生涯学習課 学校教育課 保健センター

用語解説

ドメスティック・バイオレンス



(1) 子育てにおける男女共同参画の推進

基本方針

次世代を担う子どもたちがすこやかに育つために、和光市次世代育成支援行動計画との連携を深めます。また、子育て中の家庭を社会及び地域で支え合う仕組みづくりを進め、子育ての楽しさを、男女がともに享受することができるよう、男性の子育て参画を促進します。

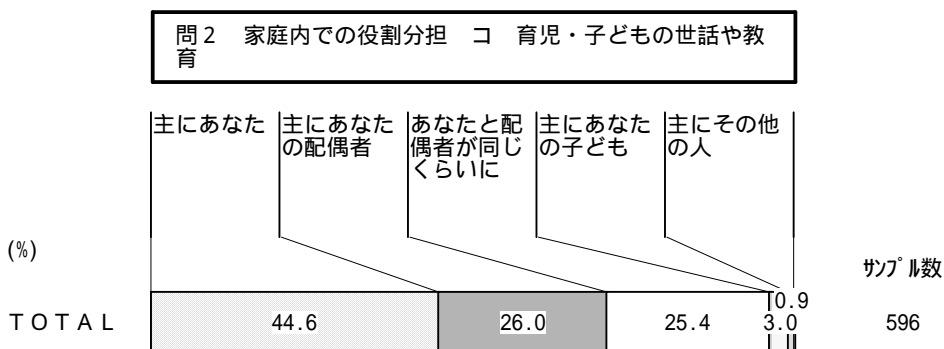
現状と課題

和光市では、子育て世代が多く、専業主婦・核家族で孤立しがちな状況の中で子育てをしている女性が多いことが予想されることから、多様な子育て支援ニーズに対応すると同時に、地域におけるネットワークや異世代との交流の機会を提供することが重要です。

また、子育てを通じて得られる喜びや楽しさは、男性にとっても得がたい経験であり、男女で喜びも責任も分かち合いながら子育てができるような働きかけを進める必要があります。

関連データ

平成 17 年度に実施した「和光市男女共同参画市民意識調査」では育児・子どもの世話や教育の役割を担っているのは女性であることがわかります。



資料：和光市男女共同参画市民意識調査（平成 17 年度）

指標

『夫婦で子育てをしている割合』

(和光市男女共同市民意識調査より把握)

25.4%(現状値) 30.4%(目標値)【5%アップ】

施策	施策の内容	主な取り組み	区分	担当課等
子育て支援サービスの充実	さまざまな子育てニーズに応じたサービスを展開します。また、乳幼児期にとどまらず児童・生徒の放課後の健全育成に努め、加えて指導者の資質向上に努めます。また、ひとり親家庭支援、児童虐待や「子育て不安」に対応する相談事業の充実を進めます。	多様な保育ニーズへの対応 ・延長保育 ・休日保育 ・夜間保育 ・病後児保育 ・緊急一次保育 等	既存	こども福祉課 各保育園
		保育施設・児童センター、学童保育クラブの充実	既存	こども福祉課 各保育園
		バリアフリー・防犯等を考慮した公共施設等の整備(公民館、公園、道路、男性用トイレ内へのベビーキープ・ベッドの設置等)	既存	都市整備課 道路安全課 建築課 教育総務課 社会福祉課 こども福祉課 各保育園 各公民館
		子育て支援センター等による育児負担軽減のための相談体制の充実	既存	子ども福祉課 保健センター
		相談窓口の充実や関係機関の連携による子どもへの虐待を未然に防ぐための取組	既存	こども福祉課 各保育園 学校教育課 保健センター
		保育士等への男女平等研修の実施	既存	政策課 こども福祉課 各保育園
地域における子育て支援の促進	地域で子育てを支えあう仕組みや、子育てをしている保護者のネットワークづくりを支援します。	つどいの広場や子育てサロンの開催などを通じた地域の子育てネットワークへの支援	既存	こども福祉課 地域振興課
		子育てサークルの育成など子育てグループへの支援	既存	こども福祉課 地域振興課
		ファミリー・サポートセンターの充実	既存	こども福祉課
		(仮)子ども総合施設の設置	新規	こども福祉課
		乳幼児とのふれあい体験の実施	既存	こども福祉課

用語解説

バリアフリー
つどいの広場
子育てサロン
ファミリー・サポート・センター



(2) 働く場における男女共同参画の推進

基本方針

結婚、妊娠、出産、育児等で離職した女性の再就職等への支援を図ります。また、事業主に対しては改正雇用機会均等法や育児・介護休業法の周知を図り、男女ともに家庭と仕事を両立させ、安心して働ける職場づくりを促進します。

また、管理的な立場への女性の起用を参画促進するため、計画的な育成や意識の向上に努めます。

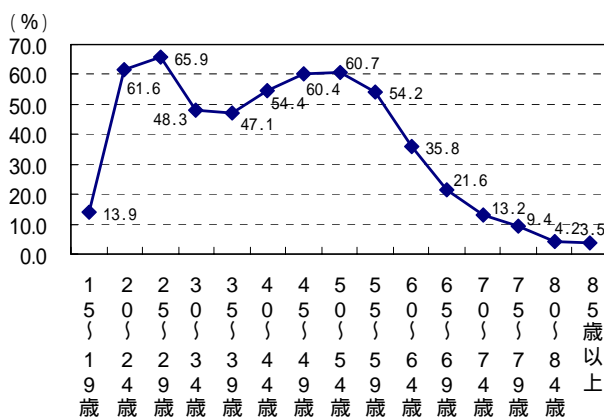
現状と課題

平成 17 年度に実施した「和光市男女共同参画市民意識調査」では、女性が働き続けるのに必要なこととして、「保育サービスを充実する」「育児等のため退職した人の再雇用制度を導入する」「代替要員確保等育児・介護休業を取得できる環境を作る」等が多くあがっています。

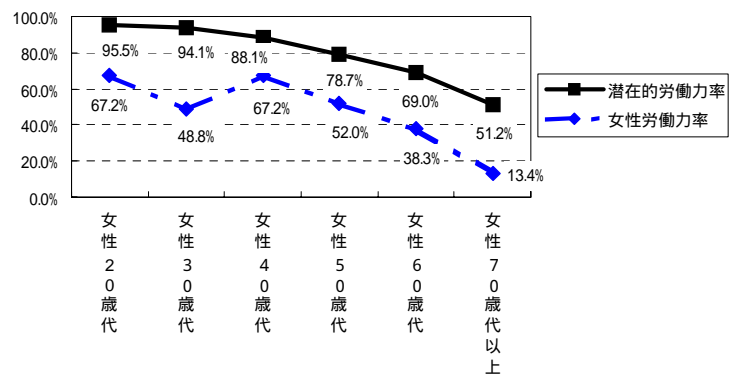
同様に、自分自身が働く職場であってはまることについては、「お茶くみや雑用は主に女性がする」「男性は育児・介護休業を取得できない、または取得しにくい」「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」「男女間で賃金・手当に差がある」が多く、さまざまな問題に対する改善が必要であることがうかがえます。

関連データ

和光市の女性の就業率をみると、30 歳代で低下し、その後上昇する「M字型」曲線を描いています。一方、平成 17 年度に実施した「和光市男女共同参画市民意識調査」では、今後の就労意向について「働きたい」と回答した人が 94.1%となっています。



資料：国勢調査（平成 12 年）



資料：和光市男女共同参画市民意識調査（平成 17 年度）

指標

『男性が育児休暇をとることに理解を示す人の割合』

(和光市男女共同参画市民意識調査より把握)

男性 44.3%、女性 60.4%(現状値) 男性 49.3%、女性 65.4%(目標値)【5%アップ】

施策	施策の内容	主な取り組み	区分	担当課等
雇用機会の平等と公平な待遇の実現	男女共同参画の視点による職場環境づくりを促進し、性別による不平等な慣行等の見直しを働きかけ、公平な待遇の実現を図ります。	ポスター・チラシ・講座等による積極的改善措置の普及啓発	新規	政策課 地域振興課
		ポスター・チラシ・講座等によるセクシュアル・ハラスメントの正しい理解と防止策の促進	既存	政策課 職員課
		ポスター・チラシ・講座等による採用や労働賃金等における男女格差の是正の啓発	既存	地域振興課
		ポスター・チラシ・講座等による労働条件等の改善の啓発	既存	地域振興課
		農業家族経営協定の普及推進	新規	地域振興課
育児・介護休業等の法律・制度の周知・取得の促進	男性の育児・介護休暇の取得の促進にむけ、企業への働きかけを行うとともに、再雇用制度の導入を促し、家庭と仕事の両立を進めます。	育児休業制度の周知や再雇用制度等の普及	新規	政策課 職員課 地域振興課
		パパネットの構築による男性の育児休業取得の促進	新規	こども福祉課
女性の起業・再就職への支援	就労に関する情報や相談を充実させ、女性が自分らしく能力を十分に発揮できるよう、起業や再就職の支援を進めるとともに多様な働き方を支援します。	ポスター・チラシ・市 HP・講演会等による就労に関する情報提供と意識啓発	既存	地域振興課
		講座等による職業能力開発への支援	既存	地域振興課
		相談・情報提供・表彰等による女性のチャレンジ支援	新規	政策課 地域振興課
		ポスター・チラシ・市 HP 等による労働条件向上のための情報を提供するなどの多様な働き方への支援	新規	政策課 地域振興課
管理的立場への女性の参画促進	管理的立場に積極的に女性が参画できるよう、企業への啓発を進めます。	就労に関する相談体制の充実	既存	地域振興課
		ポスター・チラシ・市 HP・講演会等による企業への啓発	既存	政策課 地域振興課



(3) 生涯を通じた健康支援

基本方針

男女がともに自立した生活を送り、一人ひとりが社会のあらゆる分野へ参画していくためには、心とからだの健康の保持が欠かせません。

生涯を通じた健康づくりを進めるため、各ライフステージに応じた健康支援や相談、各種健（検）診の充実を図ります。

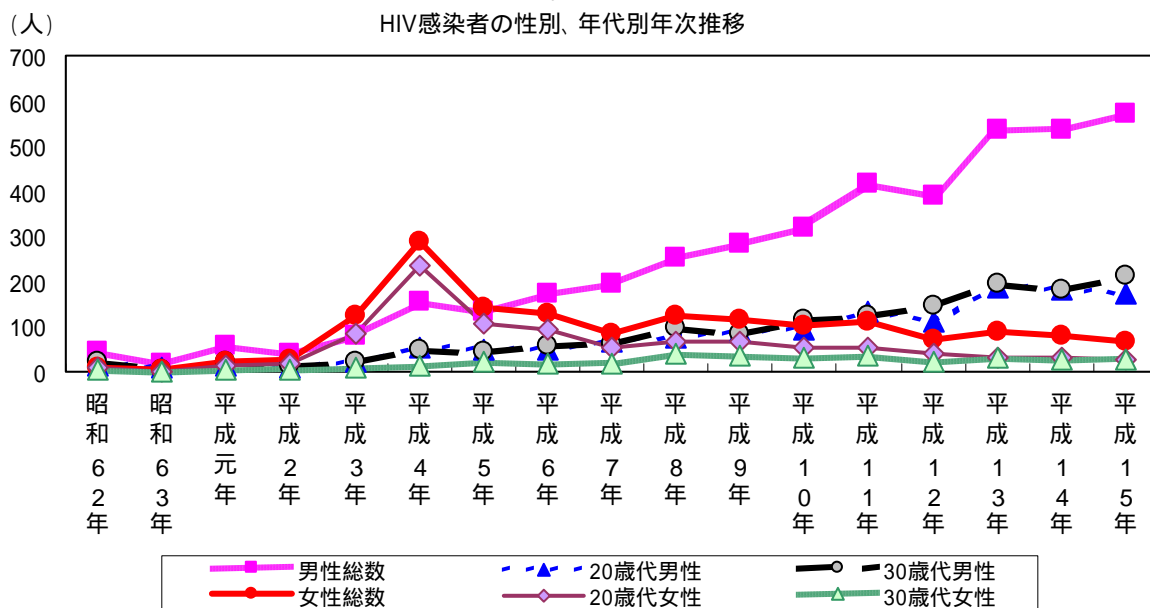
現状と課題

和光市では、健康診査を 30 歳以上の市民を対象として実施しています。女性の就業率の低い和光市では健診の受診率も低いことが考えられることから、健診の受診を促す取り組みが必要です。

また、近年においては、生活習慣病や性感染症、薬物乱用、心の健康に関する問題が増加していることから、すべての人の生涯を通じた健康づくりへの関心が高まっています。また、性感染症やエイズに関する正しい知識の普及や、思春期の性に関する相談ができる体制を整備することも重要です。

関連データ

新規に HIV への感染が報告された人数は、男性を中心に毎年増加しつづけています。感染を拡大しないために、予防に関する正しい知識の普及が早急に必要です。



資料：平成 17 年男女共同参画書（内閣府）

指標

『性感染症の予防法について知っている人の割合』

(和光市男女共同参画市民意識調査による把握)

75%(目標値)

施策	施策の内容	主な取り組み	区分	担当課等
心とからだの健康支援	年齢・性別による身体的な問題に対し、受診率の向上や保健・医療機関との連携のもと、対策・支援を進めます。また、HIV/エイズや性感染症についての正しい知識の普及を図り、二次感染の防止に努めます。性に関する相談や心とからだの健康等に関する相談の充実に努めていきます。	受診しやすい工夫を検討するなど、各種健(検)診の充実	既存	保健センター 保険医療課
		健診・相談等による生活習慣病予防への対応	既存	保健センター
		ポスター・パンフレットによる薬物乱用防止策の啓発強化	既存	社会福祉課 保健センター
		電話相談・保健指導などエイズ・性感染症への対応	既存	保健センター 政策課 地域振興課
		広報紙による性感染症についての情報提供	新規	保健センター 市政情報課
		思春期を対象とした性教育の実施や相談体制の充実	既存	学校教育課 保健センター
		相談等による精神保健福祉の充実	既存	保健センター 社会福祉課 保険医療課
		男女ともに参加しやすい工夫をするなど健康増進及びスポーツ、レクリエーション活動の強化	既存	生涯学習課 保健センター
妊娠・出産等に関する健康支援	妊娠や出産など、女性の生涯にわたる特有の健康に配慮するため、女性が安心して安全に子どもを産むことができるよう支援していきます。また、更年期・骨そしょう症等生涯を通じた支援を行います。	乳幼児健診、妊産婦・新生児訪問など母子に関わる保健福祉の充実	既存	保健センター
		講座等による女性の健康教育の充実	新規	保健センター
		更年期・骨そしょう症を含めた保健指導の充実	既存	保健センター
		女性がん検診の充実と受診体制の整備	新規	保健センター
高齢期における健康支援	高齢期にある男女が健康に暮らしていくための健康支援を進めるとともに、高齢者の孤立化を防ぐために地域におけるネットワークづくりを進めます。	講座や相談等による高齢期における健康づくりの普及	既存	保健センター 長寿あんしん課 社会福祉課
		イベントなどを活用した地域におけるネットワークづくりの普及	新規	長寿あんしん課 生涯学習課 地域振興課



(1) 政策・方針決定の場への男女共同参画

基本方針

性別にかかわらず、一人ひとりが自らの意思で選択し、責任をもって自己実現できる社会をめざすためには、政策・方針決定の際に、男女双方の意見が反映されることが必要です。市の政策や方針を決定する会議における参加者の偏りを改めます。

また、参画する能力をもった人材の育成につとめます。

現状と課題

和光市の審議会等における女性委員の割合は、平成 17 年度には 42.3% となっており、全国の自治体と比較して高い割合となっていますが、女性委員が 0 人の会もあり、また一方では、自治会長、行政職員などの政策・方針決定の場では依然として女性が少ない状況にあります。そのため、今後も引き続き、男女の均衡を図るための取り組みを進めていく必要があります。

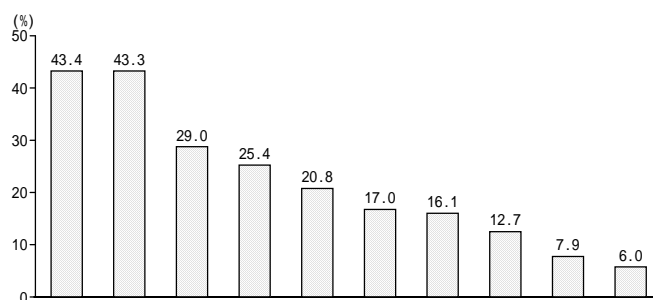
平成 17 年度に実施した「和光市男女共同参画市民意識調査」では、男女の不平等を解消するために効果的な積極的改善措置として、「不足する人材を育成するための研修を行う」、「審議会委員などの登用割合の目標数値を設定し、達成に向けて努力する」等が多くあげられており、実行性のある取り組みが期待されています。

関連データ

自治会等の役職、議員、行政職員における女性の割合が低い理由としては、「男性になる方が良いと思っている人が多い」「女性の登用に対する認識や理解が足りない」「女性自身が役職に対する関心がない」となっています。

自治会等の役職、議員、行政職員における女性の割合が低い理由（3つまで回答）

□ TOTAL n=818



F 1 性別	n	5	3	6	1	8	2	4	7	9	10
		男性になる方が良いと思っている人が多い	女性の登用に対する認識や理解が足りない	女性自身が役職に対する関心がない	女性な能力に対する偏見というふうな考えがある	女性が経験や力をつけるチャンスが少ない	女性意識は控えめな方がよい社会	地域の会長や政策決定の場に女性が少ない	女性活躍を促す雰囲気がある	その他	無回答
0 TOTAL	818	43.4	43.3	29.0	25.4	20.8	17.0	16.1	12.7	7.9	6.0
1 女性	455	46.4	40.2	28.4	28.1	23.1	15.4	17.4	13.0	8.1	5.7
2 男性	350	39.7	46.9	30.9	21.7	18.3	18.6	15.1	12.3	7.7	6.0

指標

『審議会等における女性委員の割合』

42.3% (現状値) 45.3% (目標値) 【3%アップ】

施策	施策の内容	主な取り組み	区分	担当課等
審議会等への男女共同参画の促進	政策方針・決定の場における男女の均衡を図ります。	審議会等における女性比率の拡大	既存	政策課 市民まちづくり推進課 他関係各課等
男女共同参画に関する人材育成	専門的知識・技術を持つ女性や社会に積極的に参画している女性を発掘し、市政に関わるさまざまな場で活用できる体制を整備します。	講座等における女性の人材育成及び活躍のための情報と学習機会の提供	新規	政策課 生涯学習課
		登録制による女性人材の把握と活用	新規	政策課 職員課 生涯学習課 地域振興課 各公民館



(2) 地域における男女共同参画の推進

基本方針

まちづくりに、男女双方の視点が反映されるよう、男女問わず、誰もが地域に参加・参画できるための取り組みを進めます。

また、科学技術分野をはじめとする専門分野への女性の参画を促進し、和光市らしさを活かした先進的な取り組みの方策を検討します。

現状と課題

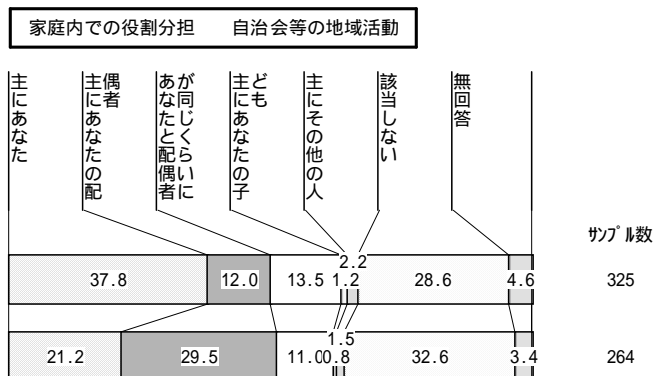
平成 17 年度に実施した「和光市男女共同参画市民意識調査」では、女性が今まで参加した地域活動として「自治会や町内会、商店街等の地域活動」「保育園・幼稚園等の保護者会、PTA 活動」が多くなっていますが、これらの活動への男性の参加率は女性に比べると低くなっています。一方で、防災や災害復興時の体制においては、女性の参画が進んでおらず、支援メニューと被災者ニーズとのアンマッチが懸念されます。地域で暮らすさまざまな人財をまちづくりに生かすことが重要です。

また、科学技術などの専門分野において、女性の参画が遅れていることが全国的に課題とされていますが、和光市には地域に科学技術に関する国の機関や先進的研究機関が立地しています。これら地域の機関との連携を深め、全国に先駆けた取り組みを進めることが期待されます。

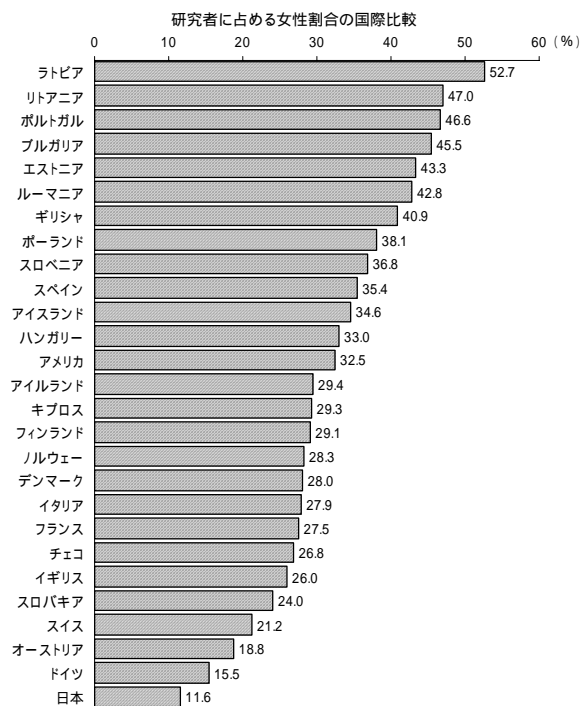
関連データ

平成 17 年「和光市男女共同参画市民意識調査」によると、家庭内における自治会等の地域活動の役割分担では、「女性が担っている」と回答している割合が高く、それに比べ「男性が担っている」と回答している割合は低いことがわかります。

研究者に占める女性割合の国際比較をみると、各国に比べて日本では圧倒的に女性の割合が低いことがわかります。



資料：和光市男女共同参画市民意識調査（平成 17 年度）



資料：平成 17 年度男女共同参画白書（内閣府）

指標

『地域活動に参加する男性の割合』

(和光市男女共同参画市民意識調査による把握)

50.6%(現状値) 55.6%(目標値)【5%アップ】

施策	施策の内容	主な取り組み	区分	担当課等
地域活動等への男女の参画促進	地域活動における指導的な立場への女性の参画を促進するとともに、男性の地域活動への積極的な参画を推進し、地域の活性化に取り組みます。また、地域における市民の主体的な活動の場における男女共同参画を促進します。	講座等による生涯学習の推進	既存	生涯学習課 地域振興課 各公民館
		地域社会における男性中心の慣行、風習、慣習の見直し	既存	地域振興課
		自治会長等における男女の均衡を図るための普及啓発	新規	地域振興課
		コミュニティ活動への男性の参画支援	既存	地域振興課 環境課
		市民活動団体・NPOの育成	既存	政策課 地域振興課 図書館
安心・安全な地域づくりの推進	男女共同参画の視点に基づいた防災・災害復興対策を確立するとともに、子どもや女性が安心して暮らすことの出来る防犯体制の整備を進めます。	男女のニーズに対応した防災・災害復興体制の確立	新規	くらし安全課
		地域における防犯体制の整備 ・防犯パトロール ・街灯の設置基準づくり ・緊急通報ネットワークの構築 等	新規	子ども福祉課 くらし安全課 道路安全課 都市整備課
専門分野への女性の参画	理化学研究所等の機関と協働して、科学分野における女性の参画を推進します。	学生を対象とした科学講座の開催	新規	政策課 生涯学習課 環境課

基本目標3 男女共同参画によるまちづくりをすすめる



(3) 国際社会「平等・開発・平和」への貢献

基本方針

和光市の男女共同参画社会の実現に向けた取り組みは、女性差別撤廃条約推進等の国連における取り組みに協調するものです。国際社会とともに「平等・開発・平和」を合言葉に、男女共同参画社会の実現をめざします。また、市民の国際的視野、国際貢献への参画意欲の醸成を進めるために、身近な地域での交流を図ります。

現状と課題

和光市に在住する外国人の数は、平成17年10月1日現在1,327人（男性647人、女性680人）です。平成12年と比較して322人増加しています。今後も外国籍市民の増加が見込まれることから、外国人を対象とした相談窓口の充実や支援が求められています。

また、男女共同参画社会の実現をめざす取り組みが、世界的に主要な課題として取り組まれているという事実や、国際社会における日本の状況が広く理解されることは、男女共同参画社会の実現の重要性がより深く認識されることにつながるため、引き続き情報の発信を進めていく必要があります。

関連データ

日本は、「平均寿命、教育水準（成人識字率と就学率）、一人当たり国民所得」で算出されるHDIでは世界で9位、同指標にジェンダーの不平等を調整した結果のGDIでは12位であるが、「国会議員に占める女性の割合、専門職・技術職に占める女性割合、管理職に占める女性割合、男女の推定所得」を用いて算出するGEMでは38位に後退してしまいます。これは、日本では女性の政治参加や意思決定の場への参画がとりわけ遅れていることを示しています。

① HDI (人間開発指数)				② GDI (ジェンダー開発指数)				③ GEM (ジェンダーエンパワーメント指数)			
順位	国名	HDI値	順位	国名	GDI値	順位	国名	GEM値	順位	国名	GEM値
1	ノルウェー	0.966	1	ノルウェー	0.966	1	ノルウェー	0.928	1	ノルウェー	0.928
2	スウェーデン	0.946	2	スウェーデン	0.946	2	スウェーデン	0.894	2	スウェーデン	0.894
3	オーストラリア	0.946	3	オーストラリア	0.945	3	デンマーク	0.847	3	デンマーク	0.847
4	カナダ	0.942	4	カナダ	0.941	4	フィンランド	0.820	4	フィンランド	0.820
5	オランダ	0.942	5	オランダ	0.936	5	オランダ	0.817	5	オランダ	0.817
6	ベルギー	0.942	6	アイスランド	0.936	6	アイスランド	0.816	6	アイスランド	0.816
7	アイスランド	0.941	7	ベルギー	0.936	7	ベルギー	0.809	7	ベルギー	0.809
8	米国	0.939	8	米国	0.936	8	オーストラリア	0.806	8	オーストラリア	0.806
9	日本	0.936	9	韓国	0.934	9	ドイツ	0.804	9	ドイツ	0.804
10	アイスランド	0.936	10	フィンランド	0.932	10	カナダ	0.787	10	カナダ	0.787
11	スイス	0.936	11	スイス	0.932	11	ニュージーランド	0.772	11	ニュージーランド	0.772
12	韓国	0.936	12	日本	0.930	12	スイス	0.771	12	スイス	0.771
13	フィンランド	0.935	13	デンマーク	0.931	13	オーストラリア	0.770	13	オーストラリア	0.770
14	オーストラリア	0.934	14	アイスランド	0.929	14	韓国	0.769	14	韓国	0.769
15	ルクセンブルグ	0.933	15	フランス	0.929	15	スペイン	0.756	15	スペイン	0.756
16	フランス	0.932	16	ルクセンブルグ	0.928	16	アイスランド	0.750	16	アイスランド	0.750
17	シンガポール	0.932	17	オーストラリア	0.924	17	バハマ	0.699	17	バハマ	0.699
18	ニュージーランド	0.930	18	ニュージーランド	0.924	18	英国	0.696	18	英国	0.696
19	ドイツ	0.929	19	ドイツ	0.921	19	オーストラリア	0.684	19	オーストラリア	0.684
20	スペイン	0.929	20	スペイン	0.916	20	シンガポール	0.680	20	シンガポール	0.680
21	イタリヤ	0.929	21	イタリヤ	0.914	21	アイスランド	0.645	21	アイスランド	0.645
22	イスラエル	0.926	22	イスラエル	0.906	22	オランダ	0.644	22	オランダ	0.644
23	香港(中国)	0.923	23	香港(中国)	0.899	23	オーストラリア	0.644	23	オーストラリア	0.644
24	オランダ	0.922	24	オランダ	0.904	24	アイスランド	0.634	24	アイスランド	0.634
25	シンガポール	0.922	25	オランダ	0.894	25	イスラエル	0.614	25	イスラエル	0.614
26	オーストラリア	0.921	26	シンガポール	0.892	26	シンガポール	0.607	26	シンガポール	0.607
27	シンガポール	0.920	27	アイスランド	0.894	27	オーストラリア	0.600	27	オーストラリア	0.600
28	韓国	0.888	28	シンガポール	0.884	28	オランダ	0.580	28	オランダ	0.580
29	アイスランド	0.888	29	韓国	0.882	29	ドイツ	0.581	29	ドイツ	0.581
30	オランダ	0.882	30	オランダ	0.875	30	シンガポール	0.580	30	シンガポール	0.580
31	オランダ	0.879	31	オランダ	0.866	31	シンガポール	0.580	31	シンガポール	0.580
32	ニュージーランド	0.869	32	ニュージーランド	0.865	32	イタリヤ	0.580	32	イタリヤ	0.580
33	アイスランド	0.867	33	アイスランド	0.852	33	オランダ	0.579	33	オランダ	0.579
34	アイスランド	0.863	34	アイスランド	0.848	34	オランダ	0.580	34	オランダ	0.580
35	アイスランド	0.859	35	アイスランド	0.847	35	オランダ	0.580	35	オランダ	0.580
36	アイスランド	0.859	36	アイスランド	0.841	36	オランダ	0.580	36	オランダ	0.580
37	アイスランド	0.850	37	アイスランド	0.841	37	アイスランド	0.542	37	アイスランド	0.542
38	アイスランド	0.846	38	アイスランド	0.840	38	アイスランド	0.521	38	アイスランド	0.521
39	アイスランド	0.844	39	アイスランド	0.830	39	アイスランド	0.520	39	アイスランド	0.520
40	アイスランド	0.843	40	アイスランド	0.829	40	アイスランド	0.520	40	アイスランド	0.520
41	アイスランド	0.842	41	アイスランド	0.829	41	アイスランド	0.520	41	アイスランド	0.520
42	アイスランド	0.842	42	アイスランド	0.827	42	アイスランド	0.520	42	アイスランド	0.520
43	アイスランド	0.839	43	アイスランド	0.827	43	アイスランド	0.520	43	アイスランド	0.520
44	アイスランド	0.836	44	アイスランド	0.829	44	アイスランド	0.519	44	アイスランド	0.519
45	アイスランド	0.834	45	アイスランド	0.827	45	アイスランド	0.517	45	アイスランド	0.517
46	アイスランド	0.833	46	アイスランド	0.819	46	アイスランド	0.511	46	アイスランド	0.511
47	アイスランド	0.833	47	アイスランド	0.796	47	アイスランド	0.509	47	アイスランド	0.509
48	アイスランド	0.830	48	アイスランド	0.795	48	アイスランド	0.497	48	アイスランド	0.497
49	アイスランド	0.824	49	アイスランド	0.794	49	アイスランド	0.487	49	アイスランド	0.487
50	アイスランド	0.823	50	アイスランド	0.782	50	アイスランド	0.480	50	アイスランド	0.480

資料：平成17年度男女共同参画白書（内閣府）

【備考】1. 国連開発計画（UNDP）「人間開発報告書」（2006年版）より作成。
2. 調査可能な国数は、HDIは127カ国、GDIは160カ国、GEMは76カ国。

指標

『女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約を知っている人の割合』

(和光市男女共同参画市民意識調査による把握)

18.0%(現状値) 23.0%(目標値)【5%アップ】

施策	施策の内容	主な取り組み	区分	担当課等
地域における国際交流の推進	和光市国際化推進計画と連携し、国際的な視野と国際社会への参画意欲の醸成を図ります。	小・中学校における国際交流の推進	既存	学校教育課
		地域子ども教室における学習・交流機会の提供	新規	各公民館 生涯学習課
		市民による国際交流の推進	既存	政策課
		国際化推進懇話会、国際化推進ネットワークなど、国際交流団体への支援	新規	政策課
国際的課題への理解・協力活動の支援	経済のグローバル化にともなう国際社会の課題や女性の能力活用における世界の中での日本の状況に対する理解を深め、市民の国際協力への取り組みを推進します。	国内外の情報収集と提供	既存	政策課
		国際的課題の理解の促進と国際協力活動への支援	新規	政策課
在住外国人への支援	在住外国人に対して、生活情報の提供や相談への対応に努めます。	広報紙、ホームページ等における英語及びわかりやすい日本語による情報提供の充実	既存	政策課 市政情報課 各関係課等
		各種相談支援、国際交流推進員による対応等、市民生活上の相談機能の充実	既存	政策課 地域振興課
		母子保健等在住外国人の保健対策の充実	新規	保健センター こども福祉課
		DV・セクハラ被害への対応	新規	政策課



(4) 男女共同参画推進体制の整備

基本方針

市は、男女共同参画社会の実現するために、全庁的な取り組み体制を整備するとともに、市民や事業者と連携して計画を進めます。

また、計画の実効性を高めるために、和光市男女共同参画推進審議会及び男女共同参画庁内連絡会議等と連携しながら、計画の進捗管理と男女共同参画に関する現状やニーズの把握を行います。加えて男女共同参画を推進するための活動の場の整備に努めます。

現状と課題

これまで、「和光市男女共同参画審議会」や、「和光市男女共同参画庁内連絡会議」、「男女共同参画わこうプラン推進委員」、「みんなでわこう男女共同参画ネットワーク」など、男女共同参画を推進するための体制づくりを進めてきましたが、今後はより一層の体制の強化を図るとともに、各職員一人ひとりの男女平等意識の醸成を進める必要があります。

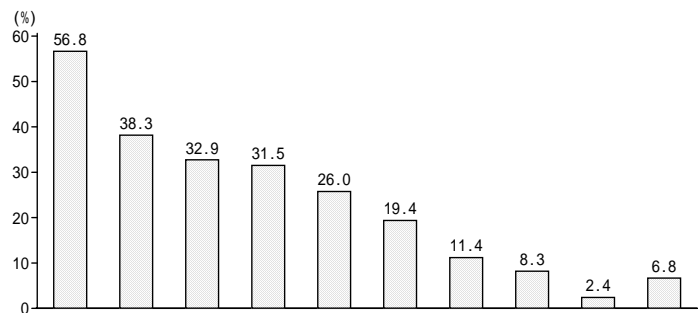
また、計画が総合的・効率的に実行されているかを把握するために、計画に定めた目標に対する進捗状況を定期的に把握し、計画の途中においても必要に応じて検討していくことが必要です。

関連データ

男女共同参画推進のために進めるべき施策について、「子育て支援の充実」「高齢者施策の充実」等、さまざまな分野に対する施策が求められています。

男女共同参画推進のために重点的に進めたらよいと思う施策（3つまで回答）

□ TOTAL n=818



F1 性別	n	5	6	4	1	2	3	7	8	9	10
		子育て支援の充実	高齢者施策の充実	就業の場における男女共同参画の推進	学校教育における男女共同参画の推進	男女共同参画の意識啓発の充実	共同参画の立案・決定への男女政策等の推進	配偶者や恋人等による暴力の根絶	男女共同参画に関する拠点施設の設置	その他	無回答
0 TOTAL	818	56.8	38.3	32.9	31.5	26.0	19.4	11.4	8.3	2.4	6.8
1 女性	455	59.8	40.4	35.8	33.2	24.0	18.5	11.0	5.7	2.2	6.4
2 男性	350	53.7	34.9	28.9	29.7	29.1	19.7	11.7	11.7	2.9	7.4

指標

『和光市男女共同参画推進条例を知っている人の割合』

(和光市男女共同参画市民意識調査より把握)

14.4%(現状値) 34.4%(目標値)【20%アップ】

施策	施策の内容	主な取り組み	区分	担当課等
市民・事業者等とのパートナーシップによる計画の推進	国・県・NPOとの連携のみならず、市民及び事業者と連携しながら、男女共同参画の推進に関する取り組みを支援します。また、市民・事業者等とともに「男女共同参画情報紙おるご～る」の編集・発行による情報提供の充実に努めます。	男女共同参画わこうプラン推進委員、みんなで男女共同参画ネットワークとの連携の促進	既存	政策課
		男女共同参画情報紙「おるご～る」、親子広場もくれんハウス等市民・事業者等との協働による情報の収集・発信体制の強化	既存	政策課 図書館
		国・県・NPO等関係機関との連携促進	既存	政策課 地域振興課
庁内における男女共同参画推進体制の強化	全庁的に男女共同参画を推進し、男女共同参画の視点から全施策の実施し、施策の進捗状況を定期的に把握するとともに、男女共同参画庁内連絡会議を充実させていきます。また、職員の男女平等意識の醸成に努め、研修機会の充実に図ります。	男女共同参画庁内連絡会議の充実	既存	政策課
		職員の研修機会の充実	既存	政策課 職員課
男女共同参画にかかる現状の分析・計画の進行管理	調査等を通じて、男女平等に関する意識・実態の把握に努めます。また、男女共同参画わこうプランの実施状況等の把握と進行管理を行います。	ジェンダー統計の検討・収集・意識調査等の実施と研究の推進	新規	政策課
		施策評価の実施と結果の公表	新規	政策課
男女共同参画を推進するための活動の場の整備	男女共同参画の視点に配慮した公共施設の環境整備や男女共同参画推進するための拠点の場の整備に努めます。	男女共同参画に関わる情報収集・発信、拠点の場の充実	新規	政策課 各関係課等

用語解説

ジェンダー統計